

バックナンバーは  
メディアサイトで



ぴったりが見つかる

# 親子の絵本時間

picture books

## 読み方アドバイス

Q.息子が小学生になります。  
読み聞かせは続けるべき？

(年長男の子のママ)

A.むしろ積極的に読んでほしい時期  
小6まで親子で絵本を開く習慣を

もちろん読んであげてください！**まだまだ親子の関わりが重要なのに親と過ごす時間が短くなる時期**なので、積極的に読み聞かせをしましょう。小6までは、週に一度、月に一度だけでもいいので、親子で絵本を開き、時間と場・気持ちを共有する機会を作ってほしいと思います。お互いに絵本を選んで、今日はママ、明日は子どもが…と読み合うのもいいですよ。ママが知らない絵本を探してくるなど、意外な発見があるかもしれません。

また、**物語の絵本は、お話と絵で想像力をふくらませることが大事**。小学校低学年では、まだ文字を読むことに一生懸命になりがちなので、**親が読み聞かせることでのびのび想像力を働かせることができる**のです。

答えてくれたのは

絵本と図鑑の親子ライブラリー ピブリオキッズ  
司書の安藤さん



(\*1)  
どい かや/作  
アリス館

登場人物と自分たちを重ねながら読めば、集中して聞けるかもしれないね。双子が登場する絵本としては『チリとチリ』[\*1]が人気です。双子の女の子が自転車に乗って出かけるお話で少し長いのですが、喫茶店やホテルなどステキな場所を見つけるシンプルな繰り

返しと、チリチリリッの音が楽しく、2才児にも読めると思います。前号で紹介した『がんばれ！ルロロ』シリーズ(株式会社KADOKAWA)もおすすめです。

一緒に遊びながら読める絵本もいいですね。『さわってごらん！ふしぎなふしぎなまほうの木』[\*2]



(\*2)  
クリスティ・マシソン/作  
大友 剛/訳  
ひさかたチャイルド

は、木を触ってページをめくると葉っぱが出てきたり、つぼみを触ると花が咲いたり…。しかけ絵本ですが、ページが飛び出したり紙を広げたりするわけではないので、取り合っ破いてしまう心配も少ないでしょう。

『ついちゃんはどこ』[\*3]のような絵探しの絵本も、双子に限らずきょうだいみんなで楽しめますよ。かこさとしさんの味のある絵も魅力です。



(\*3)  
松岡 享子/作  
加古 里子/絵  
福音館書店

今月の  
質問

双子なのですが、読み聞かせ中に本や私の取り合いになってしまいます。2人で楽しめる絵本はありませんか？  
(2才女の子の双子のママ)